

## 2023 年度事業報告

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

2024 年 6 月 19 日

(公社)UWC日本協会

### 1. UWCカレッジへの奨学生の選考と派遣

#### (1) 2023 年度派遣奨学生の派遣

日本協会奨学金とカレッジ奨学金を受給する奨学生（12 名）、一人親家庭、東日本大震災罹災家庭を含む、世帯収入が 500 万円以下の家庭からの応募者を対象とした日本協会特別支援奨学生（2 名）、全額自己負担派遣生（1 名）の合計 15 名を派遣した。

<b>イギリス校</b>		<b>3 名</b>
キムラ トモカ 木村 智香	大阪府立水都国際高等学校	
ニシオ チヒロ 西尾 地博	福井県立高志高等学校	
ヤマノウチ コトエ 山内 琴絵	渋谷教育学園幕張高等学校	
<b>カナダ校</b>		<b>2 名</b>
コバヤシ ウララ 小林 潤良々	帝塚山高等学校	
テラダ トモエ 寺田 朋笑	福井県立高志高等学校	
<b>イタリア校</b>		<b>2 名</b>
イタガキ ジュン 板垣 潤	広島県立広島叡智学園高等学校	
サナダ カオル 真田 薫	岡山県立岡山操山高等学校	
<b>アメリカ校</b>		<b>2 名</b>
ニシムラ サクラ 西村 咲良	聖心女子学院高等科	
ユアサ ココ 湯浅 心	岡山県立岡山操山高等学校	
<b>香港校</b>		<b>1 名</b>
モリヤ ハナ 守屋 花	茨城県立並木中等教育学校	
<b>ノルウェー校</b>		<b>1 名</b>
トオヤマ ハルカ 遠山 青伽	雙葉高等学校	
<b>オランダ校</b>		<b>2 名</b>
サカグチ クリカ 坂口 くり果	ドラムヘラーバレーセカンダリースクール	
スヤス マナ 須安 真菜	愛光高等学校	
<b>ドイツ校</b>		<b>1 名</b>
ヒガシヤマ ヨシキ 東山 佳樹	大阪府立北野高等学校	

## (2) 2023 年度派遣奨学生を対象としたオリエンテーションの開催

UWC 卒業生会の協力を得て、2023 年度派遣奨学生のオリエンテーションを 3 回開催した。

- ① UWC 日本協会主催オンラインオリエンテーション (5 月 28 日)
- ② UWC 日本協会主催オリエンテーション(6 月 12 日 於:経団連会館)
- ③ UWC 日本卒業生会主催オリエンテーション  
(7 月 7 日～9 日 於:国立オリンピック記念青少年総合センター)

## (3) 2021 年度派遣奨学生 (17 名) の卒業

イギリス校 3 名、カナダ校 2 名、イタリア校 2 名、アメリカ校 3 名、香港校 2 名、ノルウェー校 1 名、オランダ校 2 名、ドイツ校 1 名、日本校 1 名が卒業した。7 月 7 日に卒業生報告会を開催した。

## (4) 奨学金の給付・送金

在学中の 2022 年度ならびに 2023 年度派遣奨学生の 1 年分の各カレッジ授業料等に見合う奨学金を支給・送金した。

## (5) 2024 年度派遣奨学生の募集とオンライン説明会の開催

2024 年度の募集に関するポスターを作成し、全国の主要高校や派遣実績校、都道府県教育委員会等に送付して多くの高校に募集をかけたほか、文部科学省 IB 教育推進コンソーシアムのサイトへ募集記事の掲載を通じ、2024 年度派遣奨学生の選考準備を行った。また、応募に先立ち、UWC に対する理解を深めてもらうため、10 月 1 日にオンラインによる説明会を開催した。213 世帯・230 名の参加に対し、事務局から選考について説明したのち、国内外から集まった 10 名の卒業生、在校生が UWC で学ぶことの意義やカレッジ生活の具体例などを紹介、また、参加者から寄せられた多くの質問に回答した。

## (6) 2024 年度派遣奨学生の選考

2024 年度派遣奨学生選考を、12 月 10 日 (国語、数学の筆記試験による一次選考)、2 月 13 日 (日本語面接、英語面接、グループ・ディスカッションによる二次選考) に実施した。一次選考については、東京と大阪の 2 会場で計 66 名の応募者を対象に同時に実施した。

一次・二次選考の結果、日本協会奨学金とカレッジ奨学金を受給する奨学生 (12 名) ならびに、一人親家庭、東日本大震災罹災家庭を含む、世帯収入が 500 万円以下の家庭からの応募者を対象とした日本協会特別支援奨学生 (2 名) の合計 14 名を選抜した。

【2024 年度入学予定者】

<b>イギリス校</b>		2名
タナカ ハルカ 田中 遥	鷗友学園女子高等学校	
フジタ リオ 藤田 莉央	成蹊高等学校	
<b>カナダ校</b>		1名
ハウカ エミリ ハウカ 瑛美里	福井県立高志高等学校	
<b>イタリア校</b>		2名
カネサカ マホ 金坂 真歩	東京学芸大学附属高等学校	
サトウ シュン 佐藤 駿	東京都立西高等学校	
<b>アメリカ校</b>		1名
カネコ ナミ 金子 奈未	新潟市立高志中等教育学校	
<b>香港校</b>		2名
オガタ ユイ 緒方 ゆい	聖心女子学院高等科	
マツオ ミユウ 松尾 美結	東京学芸大学附属高等学校	
<b>ノルウェー校</b>		1名
ゴミ ケンタ 五味 健太	聖光学院高等学校	
<b>インド校</b>		1名
タカハシ レナ 高橋 玲奈	神戸女学院高等学部	
<b>オランダ校</b>		2名
ナカツ まひろ 中津 まひろ	高山西高等学校	
ヤスジマ ココカ 安島 心香	神戸女学院高等学部	
<b>ドイツ校</b>		1名
カンベ アアヤ 神戸 愛彩	京都市立西京高等学校	
<b>日本校</b>		1名
サイトウ マナカ 斎藤 真奈花	Eastchester High School	

## 2. UWC事業の日本への紹介

日本協会会員ならびに派遣奨学生応募者の増加に向けた広報活動をより効果的にするため、UWC紹介用ウェブサイトにて、日本協会の活動やUWC国際本部、各カレッジの情報等を紹介した。カラー・リーフレットや募集に関するポスターを印刷し、全国の主要高校に配布した。

## 3. 通常総会および理事会

- (1) 第30回理事会（5月19日）、第12回通常総会（6月12日）を開催し、2022年度事業報告、同収支決算、理事の選任等について審議決定した。
- (2) 第31回臨時理事会（10月25日）を開催し、2024年度派遣人数および奨学金について審議決定した。
- (3) 第32回理事会（3月13日）を開催し、2024年度事業計画、同収支予算について審議決定した。

## 4. UWC国際会議への参加

タイ・プーケットにおいて開催されたUWC 国内委員会アジア太平洋地域会議（2月27～28日／以下、地域会議）およびUWC International Congress（2月29日～3月2日／以下、全体会議）に参加した。

地域会議では、国内委員会のキャパシティビルディング（組織健全性確保および財務面の持続可能性確保のあり方、広報宣伝）や生徒支援のあり方、FNA（生徒への必要支援額算定）等、国内委員会が直面する課題や対応策について意見交換を行った。また、全体会議では、「Education as a Force」（教育が成しえること）をメインテーマに、基調講演、パネル・ディスカッション、グループ・ディスカッションが行われ、教育の未来についての議論を深めるとともに、現代のニーズに合わせたUWCの教育モデルを再考した。

以 上